

■竹下しづの女 俳人。近代女性俳人の先駆け。杉田久女・長谷川かな女らと女流黄金時代。長男とともに若手育成。

たけしたしずのじょ
国民之友始・1887＝ 福岡県京都郡稗田村で、裕福な家に生まれる。本名は静廼(シズノ)。

帝国憲法発布1889＝ 2歳：

幼時より漢籍を学び、恵まれた教育を受けながら育つ。
日清戦争始・1894＝ 7歳：

白馬会・・・1896＝ 9歳：

日露戦争始・1904＝17歳：福岡女子師範学校を卒業、
日露戦争終・1905＝18歳：

小学校教員生活を経て、

明治天皇没・1912＝25歳：のちに県立農学校校長となる篤実な伴蔵と結婚。

第一次大戦始1914＝27歳：
21ヶ条要求・1915＝28歳：長男吉信が誕生(のち俳人竜骨)。
2男3女を儲ける。

育児の傍ら本格的に句作を始め、吉岡禅寺洞・高浜虚子に師事し、
気性の激しさをうかがわせる作品などで、中央の俳壇でも認められるようになり、
大暴落・・・1920＝33歳：*女性として初めて{ホトトギス}の巻頭を飾り、
原敬首相暗殺1921＝34歳：_杉田久女・長谷川かな女らとともに女流黄金時代をつくる。

関東大震災・1923＝36歳：

共産党事件・1928＝41歳：_ {ホトトギス} 同人となる。

満州事変・・・1931＝44歳：
五一五事件・1932＝45歳：
国際連盟脱退1933＝46歳：_夫が脳溢血のため急逝。
以後、福岡市立図書館司書として“後家のがんばり”を貫き通す間、

日中戦争始・1937＝50歳：_長男竜骨と主唱して、高等学校俳句連盟を結成し、機関誌{成層圏}を創刊、その後参加した中村草田男と
ともに指導にあたり、香西照雄、金子兜太ら後進を育てる。

健保+総動員 1938＝51歳：_子といくは亡き夫(つま)といく月真澄’。
大政翼賛会・1940＝53歳：_デビュー以来の作品収録する句集「颯(はやて)」刊行。
日米開戦・・・1941＝54歳：_戦局が進んで、{成層圏}が終刊し、周囲の若者たちが次々と出征して行くため、

創価学会検挙1943＝56歳：_句会自体も消滅、創作意欲も減退して、句作を中断。
年金+総武装 1944＝57歳：_期待をかけていた長男吉信が結核のため療養に入ってまもなく、
敗戦・・・1945＝58歳：_早世するという大きな悲運に見舞われた直後に、敗戦で、精神的虚脱状態。
食糧難により郷里の稗田村に田小屋を建て独居、俄か農婦として五反の田を作り、福岡の子女のもとへ米を
運ぶという過酷な生活を余儀なくされるが、
極東裁判決・1948＝61歳：_旧 {成層圏} のメンバーの復員がほぼ完了すると、句作を再開。以後、九大俳句会を指導に尽力して、

朝鮮戦争始・1950＝63歳：
独立回復・・・1951＝64歳：_没した。